

2011.8.1

NO. 132

なみえ議会だより



「卒業証書を手渡す会」

平成23年8月1日発行
福島県浪江町議会

全議案を全会一致で承認・可決

平成23年6月定例会

平成23年6月定例会を6月23日から30日までの8日間の会期で開催しました。
今議会は、3月議会中に「東日本大震災」が発生したため、審議ができなかった議案を専決処分案として承認、また今災害に対応するための補正予算案等3件の議案を可決しました。

議案第39号	浪江町税条例の一部改正について	可決
議案第40号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決
議案第41号	平成23年度浪江町一般会計補正予算(第2号)	可決

また、多くの町民の皆様がいまなお失業状態にあり、将来への不安を強いられている中、議会として町民の立場に寄り添った活動をするべく議員報酬の削減を可決、更に原発事故に関する2つの意見書を採択し国等関係機関に送付しました。

発委第 1号	災害対策特別委員会設置に関する決議(案)	可決
発委第 2号	議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について	可決
発委第 3号	高放射能がれきの最終処分場福島県内建設計画の白紙撤回を求める意見書(案)	可決
発議第 1号	原発事故の早急な収束と原発からの撤退及びエネルギー政策の転換を求める意見書(案)	可決

高放射能がれきの最終処分場福島県内建設計画の 白紙撤回を求める意見書

福島県浪江町は、3月11日東日本大震災の被災及び原発事故災害により未だ先行不透明の現状にある。さらに町民は避難生活を余儀なくされる中、原発事故が早期収束することを願いながら、一日でも早く故郷に戻りたいという希望をもち続けている。

そのような時期において突然、環境省が県内に高放射能がれきの最終処分場の建設意向を示したことは、県民及び我々地元住民の感情を逆なでした行為であり、絶対に許されるものではない。

そこで、浪江町議会は最終処分場の県内建設計画の白紙撤回を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年6月30日

内閣総理大臣
環境大臣 様
福島県知事

福島県浪江町議会

質 疑 応 答

承認第十一号
浪江町国民健康保険条例の一部
改正について

質問
改正では特定健康診査等となっ
ているが、その理由は。

健康保険
課長
今回の被災に伴う新たな検査も
視野に入れ、幅広く検診できる
ようにするためです。

承認第十二号
浪江町道路占用料徴収
条例の一部改正について

質問
改正では占用料の額に関し、
「協議し、同意」から「協議
のし」が削除となっているが、そ
の理由は。

建設課長
同意の中に協議が含まれている
と考えます。

承認第二十一号
平成二十三年度浪江町
一般会計予算

質問
地方交付税の増減予測は。

総務課長
前年度交付額より5千60
0万円の増と当初見込み計
上しましたが、増額を国に
要望しています。

質問
財政収支計画は作成されて
いるか。

総務課長
震災後、税収見込みも含め
て今後、作成していきたい
と思います。

質問
監査業務はどのように行っ
ているか。

監査
代表委員
被災以来、監査は行って
いませんが、今後出来る範囲
で行っていきたいと考えま
す。

質問
東電へ町損害賠償を求めて
いく考えは。

町長
精査しながら求めていき
たいと考えます。

承認第二十五号
平成二十三年度浪江町公共
下水道事業特別会計予算

承認第二十七号

平成二十三年度浪江町農業
集落排水事業特別会計予算

承認第三十一号

平成二十三年度浪江町水道
事業会計予算

質問
三事業とも原発事故によつての損
害請求を求めていく考えは。

町長
三事業とも今後、損害の調査を
し、使用料金など損害を求めて
いきたいと考えます。



津波被害状況

承認第二十八号

平成二十三年度浪江町介護
保険事業特別会計予算

質問

デイサービスセンター施設などの計画は。

健康保険課長

デイサービスセンターは、二本松市の安達運動場、杉内多目的運動広場、福島市の笹谷東部、本宮市の高木の計四ヶ所です。また、本宮市の恵向ホームは、本宮市の恵向のケ所計画予定です。

質問

今まで町内の介護施設利用者、被災以来、家族利用の難先より遠い所で、改善は。

健康保険課長

今後、近くでの利用が可能になるよう努力します。

質問

介護サービス事業など高齢者や障害者の支援は。

健康保険課長

ケアマネージャーやスタッフが少ないなど課題はありますが、順次、支援の充実を図ります。

承認第三十四号

浪江町公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の一部を変更する協定の締結について

質問

公共下水道浪江浄化センターの建設工事の残額と完了検査方法は。

上下水道課長

ポンプ電気工事の設備工事の残額が1億260万円です。引き渡し前に震災があり、現地での完了検査はできません。完了と判断しました。

承認第三十七号

浪江町国民健康保険税条例の一部改正について

質問

附則が平成二十三年三月三十一日となっているが、震災以降も加えるべきではないか。

税務課長

今後、減免措置などで対応したいと思えます。

議案四十一号

平成二十三年度浪江町一般会計補正予算(第二号)

質問

内部被ばく検査の予算措置は。

健康保険課長

予算措置はしていませんが、調査は国県が実施するものと考えます。

質問

三種混合予防接種などの実施は。

健康保険課長

子どもが住んでいる市町村間で実施できるように市町村間で交渉しています。



内部被ばく検査の様子



一般質問

佐々木 英夫 議員

Q 避難者の生活に継続的な支援を

A 東電が出来ないのならば国が払うよう求めていきます

質問 避難生活が長期化する中、継続的な支援が必要だが、町としての考えは

町長 二次払いがまだないので東電・国に強く要請しています。

質問 東北電力浪江・小高原発は安全か。町民の安心のためにも誘致を見直す考えはあるか。

町長 昭和四十二年に町議会が誘致決議していましたが、町も地域活性化のため全国的に推進してきまして、現在、全国の首長からは脱原発の意見も出ています。経産省は推進の意向もあり、今後は、原発誘致の問題は、事故の検証を行い脱原発を注視していきます。

質問 原発収束に解消する町民の不安をどう解消する

町長 原発行政を推進し、壊しまし、信頼関係も失われ、家族などバタバタの生活に不安がもたらす。政策を展

質問 借出で住宅にそのい

町長 世帯構成も、現在、例借上りしつづつあり、改善されつづつあり、

質問 以前、危機管理に真つ

住民生活課長 災害が三つ重なり、避難所も不足している。津波の被害も深刻です。管理の徹底をお願いします。



馬場 績 議員

Q 被ばくの実態、みんなが知りたい。早く検査を

A 全町民が受診できるように対応します



質問 国や県は三ヶ月を過ぎ

町長 今、浪江・飯館村を過ぎ、抽出した内、被ばくした子供を、若くは世代別の優先順位を

町長 検査に出るよう、全町民が受診できるように、対応します。関係の連携を考

健康保険課長 区内の名義調査は、十名以上の調査を行います。検査

被ばく健康手帳の交付、きめ細かな調査を

質問 町民は四日間も汚染の空間域にいた。長期間にわたる定期検査と被ばく健康手帳の交付を求めべき。

町長 検討します。

質問 空間線量調査、土壌汚染調査、海洋調査は国・県・東電が責任をもち復興に向けた基礎調査の方針を示すべき。

教育総務課長 教育委員会関係では、文部科学省と内閣府が実施する調査、福島大学の協力を得て、独自の調査など複数の調査が入っています。

スクールのソーシャルワーカーの配置を

質問 本宮市では、児童生徒や保護者、先生方の心のケア体制をとっているが、浪江町では。

教育長 検討しながらその可能性を探っていきます。

※みんなで帰町し「ふるさと再建」をめざすために※
今災害に対応するため

「災害対策特別委員会」を設置

現在、町行政は災害特別体制を採っており、従来の課体制から班編成にしています。
議会としても、多様な町民の要望・要求にきめ細かな対応ができるように今議会で「災害対策特別委員会」を設置し、町民との懇談会を定期的に行い、一日も早い「ふるさと再建」を目指していきます。

災害対策特別委員会

(平成23年6月23日選任)

委員長	小黑 敬三	副委員長	三瓶 宝次		
委員	愛澤 格	委員	泉田 重章	委員	紺野 榮重
〃	山崎 博文	〃	橋爪 光雄	〃	佐々木 恵寿
〃	山本 幸一郎	〃	田尻 良作	〃	勝山 一美
〃	若月 芳則	〃	渡部 貞信	〃	佐々木 英夫
〃	横山 精一	〃	鈴木 辰行	〃	馬場 績
〃	渡邊 文星	〃	佐藤 文子		

議員報酬を25% 削減

全員協議会の協議により「議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について」を提出し、
原案のとおり可決しました。

期間については平成23年7月1日から平成24年3月31日までとしました。

佐々木英夫議員が表彰されました。

6月6日に開催された福島県町村議会議長会総会において、町村議会議員として20年以上在職功労者として、特別表彰を受けられました。



委員会構成が新たになりました。

常任委員会

総務常任委員会

(平成23年6月30日選任)

委員長	佐々木 英夫
副委員長	山崎 博文
委員	吉田 数博
委員	泉田 重章
委員	佐々木 恵寿
委員	三瓶 宝次

産業・建設常任委員会

(平成23年6月30日選任)

委員長	渡邊 文星
副委員長	若月 芳則
委員	横山 精一
委員	渡部 貞信
委員	鈴木 辰行
委員	佐藤 文子
委員	馬場 績

文教・厚生常任委員会

(平成23年6月30日選任)

委員長	紺野 榮重
副委員長	山本 幸一郎
委員	愛澤 格
委員	橋爪 光雄
委員	田尻 良作
委員	小黒 敬三
委員	勝山 一美

特別委員会

議会報編集 特別委員会

(平成23年6月30日選任)

委員長	佐藤 文子
副委員長	愛澤 格
委員	山崎 博文
委員	山本 幸一郎
委員	若月 芳則
委員	泉田 重章

地域共生型電源開発 特別委員会

(平成21年5月8日選任)

委員長	渡部 貞信
副委員長	泉田 重章
委員	愛澤 格
委員	横山 精一
委員	渡邊 文星
委員	紺野 榮重
委員	小黒 敬三
委員	三瓶 宝次

国道114号拡幅促進 特別委員会

(平成21年5月8日選任)

委員長	佐々木 恵寿
副委員長	山本 幸一郎
委員	山崎 博文
委員	若月 芳則
委員	田尻 良作
委員	鈴木 辰行
委員	佐藤 文子
委員	勝山 一美
委員	佐々木 英夫
委員	馬場 績

※ 災害対策特別委員会の構成は6ページに掲載しております。

議会運営委員会

(平成23年6月30日選任)

委員長	鈴木 辰行
副委員長	小黒 敬三
委員	渡邊 文星
委員	紺野 榮重
委員	三瓶 宝次
委員	佐々木 英夫

広域市町村圏組合

(平成21年5月8日選任)

総務	吉田 数博
総務	橋爪 光雄
保健衛生	小黒 敬三
消防厚生	佐々木 英夫



絵本を楽しむ子どもたち
「作家落合恵子さんから絵本を寄贈」

町民の声

震災から早いもので五ヶ月、皆さんそれぞれ二次避難所を経て、仮設や借り上げの住宅などに移られたりと様々な御苦勞を重ねながらも、少しずつですが、これまでのことを見つめなおす時間もできたのではないのでしょうか。

ただ、浪江町は仮設住宅も広範囲になり、町民同士のコミュニケーションも取りにくくなっております。

私達新町商店会は、何とか浪江町の人たち同士の結びつきを繋いでいくために何かをと考えて、毎年新町ふれあい広場で開催していた盆踊りを復活したいと、太鼓などを浪江から運び出しました。

幸い町の応援もいただき、八月十一日に二本松市の夏祭り、十六日に福島市北部の仮設住宅内で、さらに二十七、二十八日には岳温泉で盆踊りを開催いたします。

これを機会に私達が育んできたかけがえのない伝統的なもの、楽しかった思い出などを忘れず、浪江人としての誇りと自覚を持ち続けていただければと思います。

まずはたっぷり楽しんで下さい！



原田 雄一さん
(権現堂)

編集後記

未曾有の災害から早いもので5ヶ月を過ぎようとしています。町民の皆様には不自由な避難生活を余議なくされ、ご苦勞の事と思えます。心よりお見舞いを申し上げます。

私たち浪江町民は、かつて経験したことのない震災と津波、そして原子力災害とトリプルパンチに痛めつけられています。また、国・県・東京電力の場当たりの情報に翻弄され、子どもから大人まで健康の不安を抱えて暮らす毎日を送らざるを得ません。

今後、国、県の動向をしっかりと見据え、町の復旧・復興のため力を蓄えて皆で頑張っていきましょう。

3月議会中に震災が起きたため、議案が議決されないままに津島、東和と転々と避難し、ようやく6月議会開催となりました。震災後初めての議会だよりを発行するにあたり、手作りの作業のため以前のような訳にはいきませんが、議会の動きをわかりやすくお知らせできるよう委員一同、一生懸命作ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

佐藤 文子

発行：福島県浪江町議会

〒964-0917二本松市本町1丁目60-2
安達地方広域行政組合自治センター
Tel: 0243-22-9531
E-メール: namie-gikai@hotmail.co.jp

編集：議会報編集特別委員会

議長	吉田 数博	副委員長	愛澤 格
委員長	佐藤 文子		
委員	山崎 博文		山本 幸一郎
	若月 芳則		泉田 重章